

作成番号:0222

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2024-222

内容:医師の自殺は多いのか?男女差は?

出典:Suicide rates among physicians compared with the general population in studies from 20 countries: gender stratified systematic review and meta-analysis.

BMJ (Clinical research ed.). 2024 Aug 21;386:e078964. pii: e078964.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39168499/>

医師の自殺による死亡を一般集団と比較した研究について、オーストリア・ウィーン医科大学の研究者らは、システマティックレビューおよびメタ解析を行い、BMJ誌 2024年8月21日号に報告した。

1960年から2024年3月31日までに発表された研究を検索し23,458件の研究から、重複の削除・タイトルと抄録のスクリーニングにより786件を選出し、引用文献とレジストリの検索により、22件の研究が特定された。全文スクリーニングの結果、男性医師については38件、女性医師については26件の研究が解析対象となった。男性医師の自殺は計3,303件、女性医師の自殺は合計587件であった。メタ解析の結果、自殺による死亡の平均効果推定値は男性医師で1.05(95%信頼区間[CI]:0.90~1.22)、女性医師で1.76(1.40~2.21)であり、女性医師は一般集団と比べて有意に高かった。男性医師と女性医師の年齢調整自殺率比は時間の経過と共に減少したが、女性医師では高い水準のままであった。

国際ジャーナリスト 高橋浩祐 × 読者 徹底

若い世代の「死因トップが自殺」はG7で日本だけ

若い世代(15~34歳)死因の第1位が自殺となっているのは先進国(G7)では**日本のみ**

➔ **自殺率16.3%**は他の国に比べて高い

日本ではコロナ禍で子どもたちの自殺が大幅に増加

➔ **2020年に自殺した小中高校生は479人に達し 過去最多**